

# 尾北民商が江南市、犬山市と懇談を行いました！

**江南市** 11月21日（火）に尾北民商は江南市と懇談会を行いました。民商からは役員・事務局員合わせて10人が参加、江南市からは10人が対応しました。また日本共産党の三輪市議が同席しました。

民商から、直近の経済センサスの集計や国保の所得に対する負担割合などの資料を示し、中小業者は売上げが回復しても利益が下がったままであること、前回調査時と比べても小規模業者の廃業が進んでいること、国保財政の県単位化後、所得に占める国保負担率が、特に低所得者層で急激に引き上がっている実態を共有した上で、市と話し合いを行いました。

江南市中小企業等エネルギー価格高騰対策支援金について、これまでの実績を聞きながら、事業者への直接支援の重要性を訴えるとともに、一方で必要な書類・資料が増えるほど、支援の必要な人の申請が遠ざかってしまう実情を訴えました。

また市税の完納を要件としている点で、猶予の適用を受けている人の扱いについて質問し、猶予を受けて誠実に払っている人は滞納者として扱わないように要望しました。



減免の申請手続きについて、国保、介護保険、後期高齢国保で窓口が異なるため、提出する資料は同じなのに面談を繰り返して半日ばかりになってしまった事例をあげ、減免の窓口をワンストップ化してほしいと訴えました。

所得税法56条で家族専従者の働き分が経費とされない問題についても訴え、「現在の社会状況にそぐわないという意見もある」ことを江南市も認識していることを確認しました。国保やインボイスの問題も含め、国に意見書を挙げることを求めて民商は今後も運動を続けます。

**犬山市** 11月22日（水）に尾北民商は犬山市と懇談会を行いました。民商からは役員・事務局員合わせて11人が参加、犬山市からは12人が対応しました。また日本共産党の岡市議、岡村市議、小川市議が同席しました。

岡田尾北民商会長のあいさつの後、林副会長が現在のエネルギー・諸物価の高騰と業者の負担について訴えました。

犬山市産業振興基本条例に基づく具体的施策について、大口町や江南市を参考に業者への直接支援を求めました。また市からの発注においてインボイス登録のない免税業者を取引対象から外さないよう訴えました。



国保の減免制度について、引退者を対象とする後期高齢保険の減免申請の前年所得要件は650万円以下、対して犬山市国保の減免申請の前年所得要件は400万円以下で、現役の方がより低い前年所得でなくては申請できなくなっています。民商からは、名古屋市が1000万円以下としている点を鑑みても、せめて後期高齢と同額まで引き上げるべきと訴えました。

滞納について犬山市は昨年、「変化がない」として交渉の場で税目ごとの所得階層別の滞納者数を明らかにしていません。国保運営が県単位化したことで犬山市の国保滞納者の状況がどう変わったかなど、具体的な数字はつかめていません。

尾北民商は犬山市に、他の自治体と同様に滞納者の実態を明らかにするよう求めていきます。

**尾北民商**  
ニュース

2023年  
12月4日号  
TEL 0587-54-0524  
FAX 0587-54-1390

## 岩倉市、大口町との懇談日程です！ 地域の方は積極的にご参加を！

・岩倉市 12月5日（火） 11時～12時

・大口町 12月19日（火） 15時～16時



市役所・町役場への要望がある人、行政との懇談を見聞してみたいという人は、もよりの役員や事務局にご連絡ください。